

5月28日(土)に矢作古川分派施設 完成式典を行います！

～ 矢作古川流域の水害軽減を目的とした施設完成へ ～

1. 概 要

かつて矢作川の主流であった矢作古川は、河床勾配が緩やかで流入する支川も多い上に矢作川からの流入量の影響を受けていることから、矢作古川流域は水害常襲地帯であり、近年においても平成12年の東海(恵南)豪雨や平成20年8月末豪雨による洪水でも甚大な被害を受けてきました。

このため、出水時に矢作古川への矢作川本川からの流入を抑える施設の建設は矢作古川流域の悲願でした。この役割を担う「矢作古川分派施設」は、平成26年4月20日(日)に起工式典を行い、2年あまりの歳月を経てこのたび完成する運びとなりました。完成に伴い平成28年5月28日(土)に完成式典を行いますのでお知らせします。

2. 日 時

平成28年5月28日(土)10:00～11:30

3. 場 所

場所:西尾市志貴野町地先

4. 添付資料

- ・矢作古川分派施設概要(資料-1)
- ・矢作古川分派施設完成式典概要(資料-2)
- ・矢作古川分派施設式典会場案内図(資料-3)

5. 解 禁

指定なし

6. 配布先

愛知県県政記者クラブ、西尾市記者室、岡崎市政記者会、岡崎新聞記者会、豊橋市政記者クラブ

7. 問い合わせ先

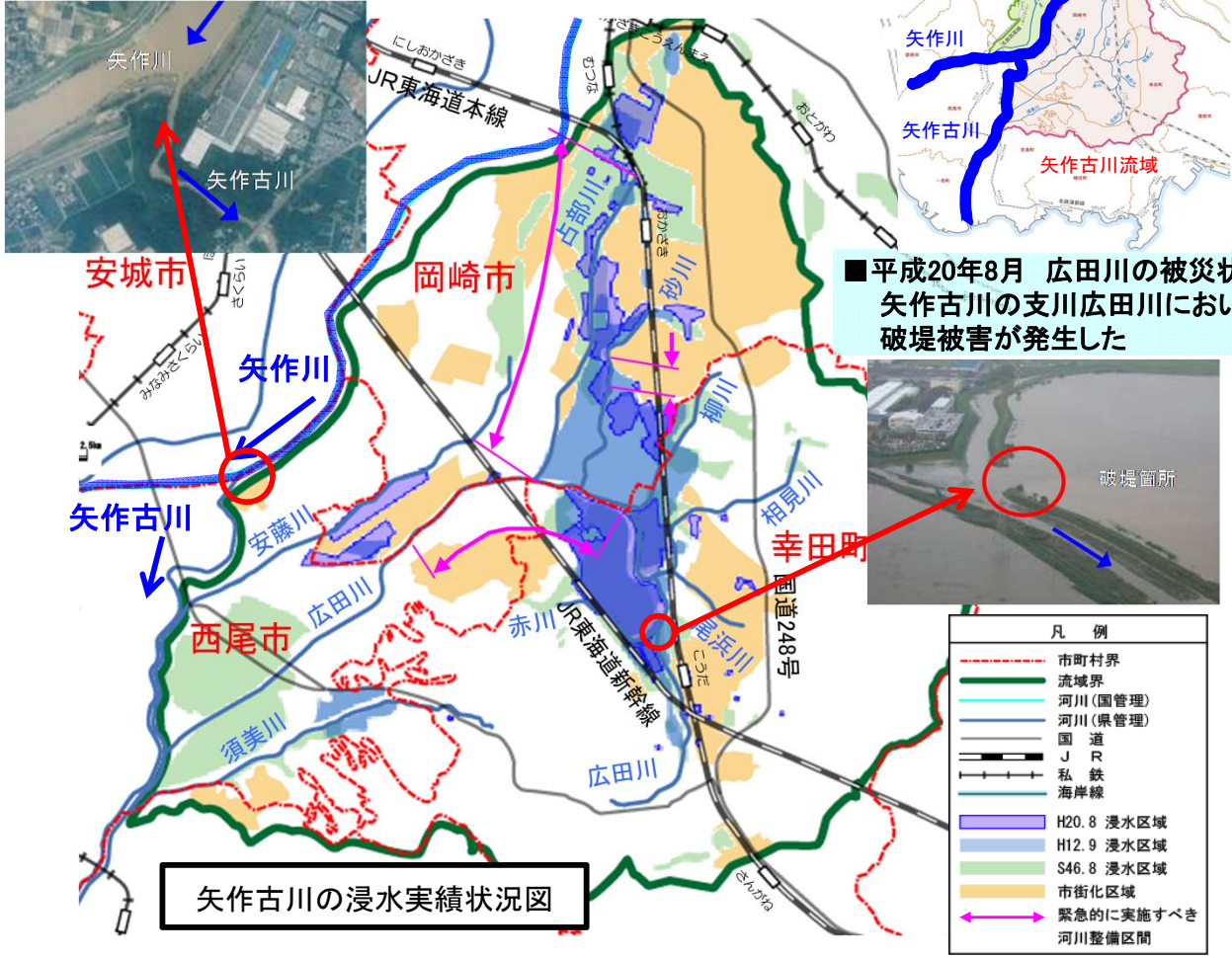
中部地方整備局 豊橋河川事務所 山本副所長、伊藤工務課長
電話0532-48-2111(代表)

* 前日、当日に降雨があった場合、式典会場周辺の足元は、相当悪くなります。会場におこしの際は、長靴等の御準備されますよう御案内申し上げます。

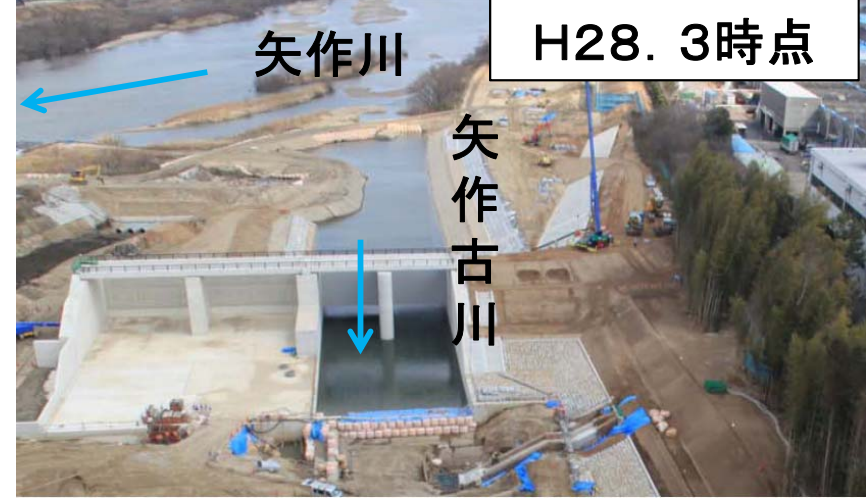
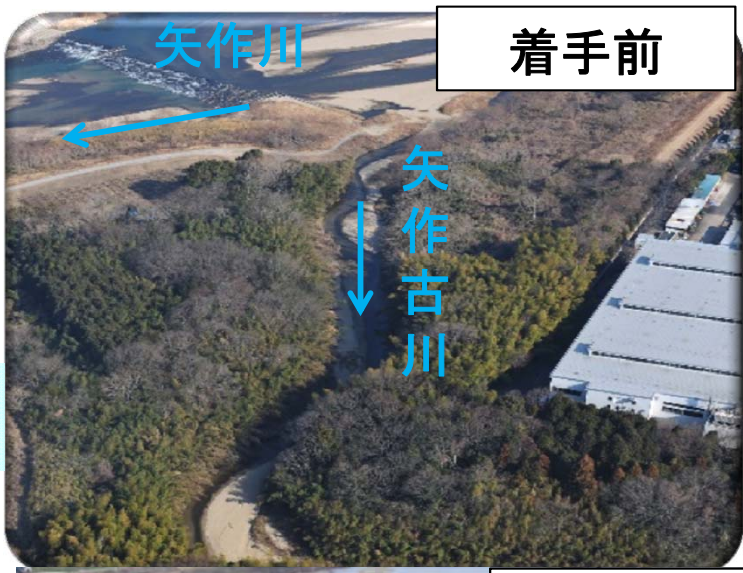
矢作古川分派施設概要 ～矢作古川流域の水害軽減を目的とした施設完成へ～

○矢作古川流域は、河床勾配が緩やかで広田川、須美川等の支川も多い上に、矢作川からの流入量の影響を受け、水害常襲地帯である。
 ○矢作川本川下流部の河道整備が完了したことから、平成25年度に矢作古川への分派を抑制する施設整備に着手し、平成28年5月に完成した。
 ○また、広田川を始めとする支川では、平成20年8月末豪雨の対策である床上浸水対策特別緊急事業も完了した。
 ○これらにより、流域の治水安全度は大きく向上し、洪水被害軽減が期待される。

■平成12年9月矢作古川の分派状況
 計画(200m³/s)を大幅に上回る流量
 (約600m³/s)が矢作古川に分派



■平成20年8月 広田川の被災状況
 矢作古川の支川広田川において、
 破堤被害が発生した



矢作古川の浸水実績状況図

矢作古川分派施設完成式典概要

1. 目的

現在の矢作古川は、かつて矢作川の主流であったが、西尾市八ツ面山に遮られる事で流れが急に南に転じ、この部分の河水の流れが悪く、水害の絶えない地域であったことから、慶長8年(1603)に徳川家康の命により、矢作新川の開削が始まり慶長10年(1605)に完成した事により形成されたものである。矢作新川は、碧海^{へきかい}台地を約1300m、幅36mで掘り割り、現在の矢作川^{やせがわ}の原形となった。

矢作古川流域は、河床勾配が緩やかで広田川・須美川等の支川も多い上に、矢作川からの流入量の影響で水害常襲地帯であった。近年においても平成12年の東海(恵南)豪雨や平成20年8月末豪雨の出水では、甚大な被害を受けた。

平成21年7月に制定された矢作川水系河川整備計画(大臣管理区間)では、矢作古川の浸水被害を鑑み、「分派施設は分派施設より下流の河道整備が完了した段階で建設するものとし、矢作古川への分派量は200m³/sとする。」と位置づけられた。このため、出水時に矢作古川への矢作川本川からの流入を押さえる役割を担う「矢作古川分派施設」は平成26年4月20日(日)に起工式典を行い、2年あまりの歳月を経てこのたび完成する運びとなった。

事業が完成するにあたり、当事業にご尽力、ご協力いただいた関係各位に感謝の意を表すとともに、矢作川の河川改修事業の推進に一層のご支援、ご協力をいただくことを目的として、矢作古川分派施設完成式典を挙げるものである。

2. 日 時 : 平成28年5月28日(土) 午前10時00分

3. 場 所 : 西尾市志貴野町地先
矢作古川分派施設建設箇所 (矢作川左岸12.4km付近)

4. 事業概要

矢作川の流量規模によって矢作古川の計画を大きく上回る流量が矢作古川に分派される事から、矢作古川への分派量を抑える施設として「矢作古川分派施設」を設置するものである。

矢作古川分派施設概要:

機能:分派量200m³/s

施設:計画開口高1.73m、幅9mを2門

平成24年度までに模型実験及び詳細設計を実施し、平成25年度に用地買収約1.3haを実施した。「平成25年度矢作古川分派施設工事」の契約を平成26年2月14日に大成建設株式会社と行い、平成28年5月に分派施設部が完成し、これにより平成28年出水期より分派機能が発揮されるとともに、愛知県の床上浸水対策特別緊急事業の完成と合わせ、地域の治水安全度が大きく向上する。

5. 主 催

矢作古川分派施設完成式典実行委員会

(愛知県、西尾市、岡崎市、豊橋河川事務所)

6. 出席予定者等

1)出席予定者

愛知県、西尾市長、岡崎市長、国土交通省

2)来 賓

地元選出国會議員

地元選出議員(県議會議員、西尾・岡崎市議會議員)

流域市町及び各議会議関係者

地元自治会長

地権者

7. 式典次第

10:00～

- | | |
|-----------|----------------------|
| ① 開 式 | |
| ② 式 辞 | 中部地方整備局 |
| ③ 地元自治体挨拶 | 愛知県、西尾市、岡崎市 |
| ④ 事業者挨拶 | 国土交通省 |
| ⑤ 来賓挨拶 | 地元選出国會議員及び地元選出議員 |
| ⑥ 来賓紹介 | |
| ⑦ 祝電紹介 | |
| ⑧ 事業説明 | 豊橋河川事務所 |
| ⑨ 完成行事 | 来賓、主催者代表によるくす玉開披等を予定 |
| ⑩ 閉 会 | |

以 上

式典会場案内図

資料-3

式典会場周辺



広域地図



式典会場までの経路

・国道23号より……中原インター下車、西尾小川線(県道294号)経由約5分

上記式典会場にご来場下さい。

駐車場は式典会場にご用意しております。

《お問い合わせ先》

矢作古川分派施設完成式典実行委員会 窓口
(豊橋河川事務所 総務課内)
TEL 0532-48-2111